



2010年 3月12日 No. 896

全国一般石川地方労働組合 教宣部 金沢市駅西本町3-13-5 TEL 076 (262) 0724 発行人 荒木宗昭

門前サンケン工場閉鎖攻撃、輪島自校閉鎖攻撃を地本の総力ではね返そう!

二〇一〇春闘要求 全職場で一斉に提出!

二月二十三日、石川サンケン(浦上社長。半導体生産、本社志賀町。親企業はサンケン電気株式会社、本社埼玉)は、門前サンケン支部に対し「来年三月をもって工場閉鎖したい」と提案してきました。この突如の提案に支部の仲間たちは驚き、怒りに燃えて「白紙撤回」を要求。その場で「組合との誠実な交渉協議・合意にもとづいて解決する、雇用の一切の責任を会社が負う、不当労働行為をしない」等を覚書として締結し、団交後ただちに支部執行委員会、全組合員集会を開催し、「工場閉鎖白紙撤回」「門前工場存続」のため闘うことを確認しました。地本は荒木委員長を闘争委員長とする門前工場閉鎖反対闘争委員会を設置し、この闘いを今春闘の最大課題として、輪島自校閉鎖に反対する闘いとあわせ取り組むことを決定しました。

2010春闘 要求一覧

職場名	賃上げ・統一要求	付帯要求
城東自校	<自校統一要求> ・基本給9,000円引き上げ	賃金は正、定年後再雇用者の時間給引き上げ、育児・介護休暇、時間有休、有休最高25日、資格手当見直しほか
東部自校	・最低賃金	賃金は正、育児・介護休暇(有給)、定年後再雇用者の組合員化、有休最高25日
北鉄自校	指導員 16万円 事務・バス 15万円	定年前賃金カット廃止、若年層の是正、資格手当見直し、有休最高25日、閑散期時差勤務(入社5年未満の者)
北中自校 輪島自校	※退職金確保の各種要求 裁判員制度の公休扱い	資格手当見直し、教習料金の家族割引の改善、有休最高25日
羽昨自校	城東:バス部門の 賃上げ率引き上げ	時間外割増率の引上げ、特残手当の増額、有休最高25日、退職金支給率引き上げ
能中自校		未解決の春闘一時金の解決、時間外割増率引上げ、有休最高25日、健診充実
加南加賀 分会		若年層別原資是正、資格手当の新設・見直し、65歳雇用確保の協定化、制服貸与、学校施設充実
北陸冷蔵	<食品冷蔵 統一要求>	① 退職金の保全、各工場の正社員補充、時間有休
市場冷蔵	・基本給9,000円 引き上げ	女子事務員の労働条件維持
魚市冷蔵		職務給の評価基準の明示・運用改善、人員補充ほか
天狗産業	魚市:賃金表の金額 引き上げ	② 人員補充、社宅規定改定、各種施設改善など
金沢製粉	天狗:嘱託・パート 時給50円引上げ	
芝寿し	芝寿し:時給50円 引き上げ	① 一部組合員の待遇改善、休憩時間の確保、勤務時間帯の改善、繁忙期の長時間労働の実態調査、人員補充、有休取得について、休日増、退職金引上げなど
林ペニヤ	9,000円	賃金は正、準社員の新規採用、契約社員の準社員としての登用、休日確保、賃金カット回復
門前サンケン	9,000円	① 最重要課題は、門前工場閉鎖提案の撤回、新規採用。特別決議を添付。他に、賃金カット・時間外割増率の削減の回復、若年層別原資是正など
丸一石油	9,000円	55歳以上の妥結額通り賃上げ実施
北国製紙	9,000円	② 各種消耗品の支給、労災防止のため設備修繕、組合掲示板設置場所の貸与
金沢市清掃	9,000円	①
北陸葬祭	9,000円	①、②
大同テクノ	9,000円	① 大同工業正社員との賃金格差是正、大同工業へ直接雇用(正社員)を働きかけ、時間外割増率引上げ、交代手当引上げ、時間有休、裁判員制度の公休扱いほか、未解決問題
ｽﾀｯﾌﾟﾈｵﾝ	5,000円	時間有休、ほか継続案件

↑①企業内最賃、②65才までの雇用確保

※ 北国新聞関連労組、北陸労金労組、全労済労組は別途要求。金沢執行官室分会は1月に終了

3月27・28日 10～15時 地本会館にて 地本労働相談(無料)

地本執行部が対応します。知人や家族が職場の問題で困っていたら紹介して下さい。秘密厳守です。

二月二十八日には門前の地で工場閉鎖反対総決起集会を開催(別掲記事)、地本各職場からも多くの仲間が激励にかけつけ、反撃のろしをあげました。



厳しい闘いを象徴するような真冬の寒さとなった連合石川2010春闘決起集会のデモ行進(3/10)

心な論議でつくり上げてきた要求を三月五日全職場で一斉に会社へ提出しました。すでに大手企業を中心に今年には賃上げなしの「定昇維持」が労使の攻防になるとマスコミが報じていますが、定昇のない私たち中小企業労働者は賃金引き上げの闘いによってしか生活を守りません。経営者は「業績の悪さ」の名の下に、首切り、操短、賃金カットなど、私たちにあらゆる犠牲をどんどんおしつけてきています。企業の大小、正規・非正規の区別なく労働者の使い捨てが続いています。今が正念場です。私たちは、門前サンケン工場閉鎖を絶対に許さず、職場と雇用・生活を守るために二〇一〇春闘を全力で闘い抜いていこう!

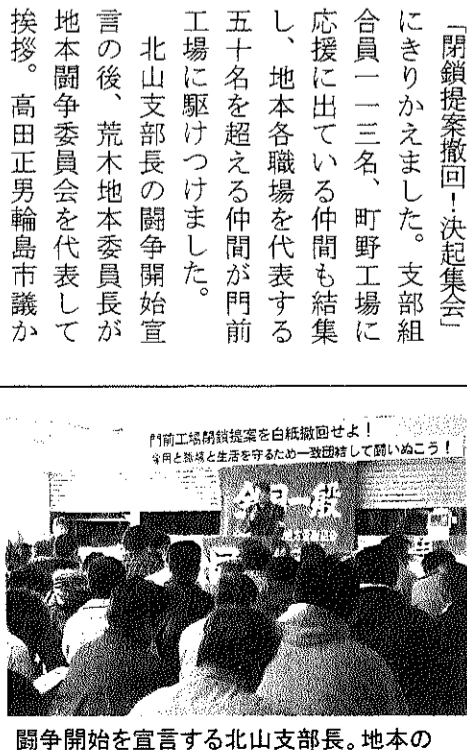
「春闘で賃上げを!」地本春闘討論集会(一月三十日～三十一日)をうけて、それぞれの職場では二〇一〇春闘にむけての討論と準備を積み重ねてきました。二月二十二日には食品冷蔵職場が、三月一日には自校職場が部会を開催し、厳しい中でこそ横のつながり

このように職場からの熱

2月28日 門前サンケン支部

会社生き残りの犠牲を労働者におしつけるな! 地本職場五〇名の仲間も門前に駆けつけ閉鎖提案撤回の決起集会を実現!

門前サンケン支部の仲間には二月二十八日、予定していた春闘臨時大会を急ぎよ「閉鎖提案撤回!決起集会」にきりかえました。支部組合員一三名、町野工場に応援に出ている仲間も結集し、地本各職場を代表する五十名を超える仲間が門前工場に駆けつけました。北山支部長の闘争開始宣言の後、荒木地本委員長が地本闘争委員会を代表して挨拶。高田正男輪島市議か



闘争開始を宣言する北山支部長。地本の団結の底力を発揮して闘いぬくぞ!



主催県を代表し大谷青年女性部長が挨拶。「仲間がいれば闘えと中央自校闘争で学んだ。雇用不安に対決する、全国の連帯を」

全国一般を地域連帯の拠点に!

石川を主催県として開催 たくさんさんの仲間に元気をもらいました!

三月六、七日の両日、全国一般評議会第七回青年女性交流会が石川県青年女性総合研修センターで開催されました。七年前、石川、新潟、大阪の三地本・十数名で始めたこの会は、回を重ね参加地本が増え、七回目の今回は十一地方労組・一業種別部会・総勢七十余名の青年女性組合員の仲間が

全国一般評議会第七回青年女性交流会

(表面より続き)
書記長が基調提起。「企業生き残りのための工場閉鎖、組合つぶし攻撃に反対しよう!」と力強くよびかけました。また特別提起として、支部結成以来指導し続けている高原地本特別執行委員が「支部結成三十八年の苦闘を今この闘いに凝縮し、全組合員が一致団結して闘い抜こう!」と訴えました。さらに、地本各職場の仲間が激励と連帯を表明。特に、城東自校分会の元中央自校の仲間は「私たちが地本の仲間がいたから闘えた。大切なのは最後まで絶対にあきらめないこと。私たちが団結して闘う」と熱くよびかけました。



「門前の地で生活できる職場と雇用を守るぞ!」一致団結してガンバロー!

また、輪島自校閉鎖攻撃と闘う北中自校分会の仲間は、「会社生き残りのために『赤字』の責任を労働者に押し付ける姿勢に憤りを

感じる。地域の雇用と生活を守るため、地域で運動を起こし地本全体で団結し闘う」と連帯を表明しました。多くの檄布が贈られた後、

今度は支部執行部や一般組合員の仲間が決意表明。「会社の利益のために、自分たち組合員を何だと思ってるのか。冗談ではない!」

門前の地で働けるよう、私たち一般組合員が執行部を下から支え白紙撤回を求めよう」と訴えました。

近藤和也衆議院議員もか

「人ぞし」と闘う連帯を記念講演—毎日新聞社会部 東海林智さん

普天間基地はいらない! 辺野古新基地を許さない!

沖縄・全国の仲間と連帯して闘おう!

全国の反基地運動と連帯

一月三十日、東京日比谷公園で開催された沖縄普天間基地撤去と辺野古新基地建設に反対する全国七千人集会に、地本から城東と加南加賀自校の仲間が代表参加しました。

参加した仲間の感想文

一月三十日に東京で大規模な集会があり参加してきました。このような大規模な集会には参加した事がなく驚きました。「普天間基地はいらない!

参加。青年女性部立ち上げ準備中の地方労組も参加し、着実に活動が前進していることを印象付けました。

「人ぞし」と闘う連帯を記念講演—毎日新聞社会部 東海林智さん

氏は、ペンで貧困問題・労働問題に鋭く切り込むだけでなく、年越し派遣村の

実行委員として市民団体や労働組合と力的に

「人ぞし」と闘う連帯を記念講演—毎日新聞社会部 東海林智さん

行動されています。「貧困の現場からみた非正規労働者の実態と労働組合の課題」と題し、現場取材してきた経験から、労働力が買いかけてきた経過、貧困から抜け出せない労働者の実態をリアルに語りました。

個人の能力の問題ではなく、政治の流れ・国の政策の下、労働者に強いられてきた背景とともに、労働組合の役割、力が重要だと実例をあげて訴え、参加した仲間は真剣に耳を傾けました。

第二部・分散会での意見交換は、他人事と感じてい



青年女性 全国一般労働

頑張り」と激励と決意表明。最後に、工場閉鎖提案撤回を最重要課題とする春闘

辺野古新基地を許さない!とプラカードを掲げて集会が始まりました。

社民党の福島さんはこの問題に命をかけて取り組むという発言に会場の熱気はピークに達したような気がしました。

また沖縄の現地の方々の「新基地反対」という熱気ある中で、会場は外でしたが凄く熱くなつたような気がします。

その後デモ行進に参加しました。人数が多いもので、立ち止まることのほうが多かったです。また東京の街中という

行動されています。「貧困の現場からみた非正規労働者の実態と労働組合の課題」と題し、現場取材してきた経験から、労働力が買いかけてきた経過、貧困から抜け出せない労働者の実態をリアルに語りました。

個人の能力の問題ではなく、政治の流れ・国の政策の下、労働者に強いられてきた背景とともに、労働組合の役割、力が重要だと実例をあげて訴え、参加した仲間は真剣に耳を傾けました。

第二部・分散会での意見交換は、他人事と感じてい

要求と特別決議を採択して集会を終えました。今後、この闘いを、輪島

事で、多くの人たちの目に入り、この問題の認識が高まったのではないのでしょうか。

沖縄と石川県は遠く離れており、あまり意識していなかったが、もしこれが石川県で同じ事が起こったら、多分同じことをするでしょう。私たちが沖縄の人の身になって考えなければならぬと思いました。

(加南加賀自校分会/川井孝幸)

県内の仲間とともに

また県内でも二月十二日、平和センター青年女性部が沖縄平和センター山城事務局局長を招き反戦平和集会を開催しました。

名護市長選で新基地建設に反対する新市長が勝利。この地元民意を無視し、米

労働組合から持ち寄った春闘勝利を目指す檄布を互いに交換。一年ぶりに再開した遠方の仲間の近況や、初めて話す仲間の職場の苦労話など、有意義な時間でした。

二日目は全体で初日の分散会報告と、各地方労組の活動報告。栃木・普恵園支部長の石川さんが不当解雇(組合つぶし)攻撃と闘っている争議や、石川・門前サンケン支部の仲間が工場閉鎖提案撤回の決意を語るなど、東海林記者も「ガンバレ!」と檄をとばし、会場全体で受け止めました。

最後は、各地方労組が一つずつ考えたシュプレヒコ

自分への反省、職場の非正規労働者の組織化の苦労話、青年女性部活動の活性化のアイデアなど、多様な意見が出されました。東海林記者も全日程に参加してくれました。

夕食交流会では、各地方

自校閉鎖に反対する闘いとあわせ、地本の総力で進めていきます。各職場におい

では、春闘の取り組みや様々な攻撃があるなか、最大限の支援をお願いします。

一ルを会場全体であげ、大谷青年部長の団結ガンバローの音頭で二日間の交流会を締めくくりました。

今回の計画立案・準備・運営を担った地本青年女性部常任委員の仲間はたいへん苦労様でした。

最後は、各地方労組が一つずつ考えたシュプレヒコ

夕食交流会では、各地方



10春闘勝利! 交流会にこれなかった仲間も寄せ書きして檄布を交換しました



「基地移設ではダメ。基地撤去の闘いを!」沖縄平和センターの山城事務局局長(2/12)

自校閉鎖に反対する闘いとあわせ、地本の総力で進めていきます。各職場におい

では、春闘の取り組みや様々な攻撃があるなか、最大限の支援をお願いします。

一ルを会場全体であげ、大谷青年部長の団結ガンバローの音頭で二日間の交流会を締めくくりました。

今回の計画立案・準備・運営を担った地本青年女性部常任委員の仲間はたいへん苦労様でした。

最後は、各地方労組が一つずつ考えたシュプレヒコ

夕食交流会では、各地方

自校閉鎖に反対する闘いとあわせ、地本の総力で進めていきます。各職場におい

では、春闘の取り組みや様々な攻撃があるなか、最大限の支援をお願いします。

一ルを会場全体であげ、大谷青年部長の団結ガンバローの音頭で二日間の交流会を締めくくりました。

今回の計画立案・準備・運営を担った地本青年女性部常任委員の仲間はたいへん苦労様でした。

最後は、各地方労組が一つずつ考えたシュプレヒコ

夕食交流会では、各地方

自校閉鎖に反対する闘いとあわせ、地本の総力で進めていきます。各職場におい